

「2021(令和 3)年度 自己評価の公表」

社会福祉法人さつき会
たじりこども園

○4段階で評価をおこなった。

A：かなりできている B：ほぼできている C：あまりできていない D：ほとんどできていない

○評価項目の数字は人数である。

第1章 総則

1. 教育及び保育の基本と目標

	設 問	A	B	C	D
001	幼稚園、保育所、認定こども園に関する法令を読み、その内容を理解しているか？	3	12	3	
002	「教育要領」「保育指針」「教育・保育要領」を読んだことがあるか？	3	13	2	
003	乳幼児期の教育及び保育は、人格形成の基礎を養う重要なものであることを理解しているか？	10	7	1	
004	保育の原理である、人、物、場などの環境が相互に関連し合い、子どもの生活が豊かになるよう保育の計画や実践に努めているか？	2	11	5	

【評価】教育及び保育の基本と目標については、昨年と同じく職員が重要性を理解し、実践に努めているという結果であった。今後もより理解を深めたうえで、保育を充実させることを目標にしていく。

2. 特に配慮をすべき事項

(1) 教育及び保育の配慮

	設 問	A	B	C	D
005	登園してくる子どもに、あいさつをしながら、視診・触診をして健康状態を確認しているか？	10	8		
006	子ども一人ひとりに、分かりやすい温かな言葉でおだやかに話しかけているか？	3	15		
007	基本的生活習慣に基づき、あいさつ等、日常生活に必要な言葉を使っているか？	9	9		

【評価】「A」または「B」の回答であったので引き続き、一人ひとりの園児に細やかな教育及び保育の配慮を行い、誠実に対応していくよう努める。さまざまな気づきを職員、保護者間で共有し、向上していきたい。

(2) 健康支援

	設 問	A	B	C	D
008	感染症が発生した際は、口頭及び文書や掲示板等で保護者に伝えているか？	8	10		
009	疾患のある子どもに対して、園医やかかりつけ医からの指示に基づいて対応をしているか？	10	8		
010	園生活での活動・発達の状況や家庭での十分な睡眠や健康的な生活リズムを身につけるよう、保護者との連携に努めているか？	5	11	2	
011	子どもが活動しやすいように、その都度、保育室の換気や温度・湿度に配慮しているか？	8	8	2	
012	あなたは、不審者が園内に侵入した際、どのように対応するかを理解しているか？	7	10	1	

【評価】昨年に続き「A」または「B」が多かった半面、「C」もあった。今一度マニュアルを職員会議等で共有し、不審者の避難訓練等を複数回行っていく。また、マニュアルの見直しも毎年行い周知していく。

(3) 食育

	設 問	A	B	C	D
013	子どもの体調に応じ、食事の量を調整したり、食べ物を残したり偏食をするときは過度に叱らないように心がけているか？	3	15		
014	その日の給食の食べ具合などを必要に応じて保護者に知らせているか？	8	9	1	
015	食べることの意味や命について考える機会をつくっているか？（人の命、動物の命、植物の命）	1	9	8	
016	よく噛んで食べることが食物の消化・吸収をよくすることを理解できるように伝えているか？	2	11	5	
017	食物アレルギーのある子どもに対して、園医やかかりつけ医と連携して除去食を取り入れるなどの配慮をしているか？	9	5	4	
018	子どもが楽しく食べることができるように、食育の計画を作成しているか？	2	10	6	

【評価】基本的な生活習慣の中でも特に大切な「食事」に対して、「C」の回答があったので、食育の大切さを改めて認識し、園児にとってより良い環境で食事を提供できるように努めていく。

(4) 特別支援教育・障がい児保育

	設 問	A	B	C	D
019	障がいの種類やその特質を理解することができているか？	5	7	6	
020	園と個人の指導計画に沿って適切な発達援助ができているか？	1	5	12	
021	障がいのない子どもも障がいのある子どもも、お互いの良さを感じるように保育の配慮をしているか？	1	12	5	

022	療育機関・医療機関等の専門機関から、子どもの障がいについて必要に応じて助言を受けているか？	4	5	9	
023	障がいのある子どもの保護者と話し合う場を日常的に設け、信頼されるように努めているか？	2	8	8	

【評価】適切な援助ができていないのか、職員の中にはまだ自信がないと思われる回答もあった。職員間での共有や研修への参加等を積極的に行い、スキルアップを目指していく。

第2章 子どもの発達

	設 問	A	B	C	D
024	子どもの発達は豊かな心情、意欲、態度を身につけ、新たな能力を獲得していく過程であることを理解しているか？	3	14	1	
025	子どもの思いを十分に受け止めることができているか？	3	13	2	
026	子どもの人権や一人一人の個人差を尊重して保育をしているか？	5	13		
027	子どもが興味や関心を示し、主体的に関わる環境を用意しているか？	1	13	4	
028	子どもの心が健康に育つため、安心感のある環境づくりに努めているか？	2	13	3	

【評価】「B」のほぼできている、の回答が多かった。日々の保育で、思いを受け止めることの大切さや、尊重することの大切さを重視しながら努めているので、引き続き、園児が自ら進んで関われる、安心感のある環境を用意し、心が健康に育つように努めていく。

第3章 「ねらい」及び「内容」

1.保育内容「健康」

	設 問	A	B	C	D
029	一人ひとりの健康状態や発達について把握し、異常に気づくことができているか？	4	13	1	
030	こども園は、子ども一人ひとりと集団全体の健康及び安全の確保に努めなければならないことを理解しているか？	8	9	1	
031	食前や排泄後の手洗いを励行するなど、清潔の習慣が身に付くよう保育をしているか？	8	10		
032	災害時に子どもが取る行動について、日頃から丁寧に話し、火事・地震以外の災害に想定した避難訓練も行なっているか？	5	11	2	
033	子どもの安全を確保し、避難誘導が適切にできるか？	5	12	1	

【評価】避難訓練を毎月1回行っているが、「C」の回答も少数あった。避難訓練が実際の災害に役立つように、危機感を持って取り組んでいく。また、災害時を想定した避難や対応マニュアルの見直し行っていきたい。異常に気付ける余裕を持ちながら安全に教育及び保育を行っていきけるように改善していく。

2.保育内容「人間関係」

	設 問	A	B	C	D
034	いろいろな人（高齢者・地域の方）と触れ合うことの素晴らしさを子どもに伝えることができているか？		8	7	3
035	友だちと積極的に関わりながら遊び、喜びや悲しみを共感する機会を大事にしているか？	5	12	1	
036	人の命の尊さを教え、他者をいたわり大切にすることを養う保育ができているか？	4	10	4	
037	社会的ルールを正確に理解できるよう導き、間違いに気づけるように援助をしているか？	2	13	3	

【評価】引き続き、新型コロナウイルス感染症の流行が気になる中ではあるが、地域の行事等にも積極的に参加していきたい。また、異年齢交流も難しい中ではあるが、他学年への意識が高まるような教育及び保育を行ってきたい。

3.保育内容「環境」

	設 問	A	B	C	D
038	大きな自然、小さな自然、街中の様子などから、まずは保育教諭自身が季節の変化を感じ取る感受性を大事にしているか？	4	11	3	
039	子どもが自然を観察したり触れたりする中で、その大きさ、楽しさ、不思議さなどに気付くように援助しているか？	4	13	1	
040	数量や図形などに関心を持つように、生活の中で数を数えたり、形を意識したりするなど、工夫した保育をしているか？	5	13		
041	伝統的な年中行事等を保育に取り入れているか？	7	9	2	

【評価】ささいな声かけによって子どもたちが自ら発見し、気づき、考えることができるよう、力を引き出していき、その力が生かせるように工夫をしながら、年中行事を行っていく。

4.保育内容「言葉」

	設 問	A	B	C	D
042	保育教諭自身が豊かで美しい言葉を使用し、思いを込めて会話するように心がけ、人の話を聞く態度を身に付けさせることができているか？	4	13	1	
043	子どもが分からないことを訊ねたりできるように、ゆったりと子どもの言葉を聞き応答する雰囲気を作っているか？	2	15	1	
044	行事や体験を通して感動したり発見したりする場を設定し、その後の表現につながる配慮をしているか？	1	13	4	
045	紙芝居や絵本、素話などを通して、物語の楽しさや言葉のおもしろさに気付くように心がけているか？	6	11	1	

【評価】「C」の回答があったので、言葉の大切さや表現方法など、保育者自身が言葉を豊かに使うことで養われていくことを改めて認識し、今後も更に心がけていく。また、職員間でも意識を高め、

気付き合える環境を作っていきたい。

5.保育内容「表現」

	設 問	A	B	C	D
046	計画を立て、目標を持って音楽活動を行なっているか？	2	12	4	
047	音楽活動の中で、子どもの個人差を理解し、能力・適性・興味に応じて、楽しく取り組めるように配慮しているか？	2	12	4	
048	自分のイメージを言葉や体の動きなどで表現したり、演じて遊んだりして楽しめる機会を作っているか？	2	14	2	
049	歌ったり、踊ったりして、表現の楽しさに気付くように援助しているか？	5	13		
050	さまざまな楽器に触れて親しみを持たせ、楽器の扱いを正しく子どもに指導できているか？	3	8	7	

【評価】年間を通して、季節の歌や手遊びなどを取り入れたり、学年によってリトミックや和太鼓などの活動を行ったりしている。目標を持って楽しく活動を行うことが子どもたちの育ちをより良くするという念頭におき、さまざまな音色を身体全体で感じられる工夫を行っていききたい。

2. 0歳以上～満3歳未満児の保育に関する配慮事項

	設 問	A	B	C	D
051	おむつ交換時は、言葉かけや歌などを口ずさみながら楽しい雰囲気を取り換えるようにしているか？	5	13		
052	睡眠が十分にとれるように、静かな環境を整えているか？	7	11		
053	午睡状況(呼吸、顔色、嘔吐、汗)を常に観察するとともに、SIDS(乳幼児突然死症候群)のチェックを記録しているか？	5	13		
054	家庭からの連絡帳の記入を毎朝見て、睡眠時間、食事、授乳の時間等、必要事項のチェックを行っているか？	6	11	1	
055	基本的な生活習慣の習得については、子ども一人一人の発達過程に合わせて、無理なく行っているか？	4	14		
056	子どもの手の届く範囲にあるものの安全性について、いつも確認しているか？	8	6	4	
057	進級などで保育者が替わる場合は、子どもが不安にならないように職員間で情報を共有しているか？	4	12	2	

【評価】教育及び保育を行う中で安全で豊かな生活が送れるように心がけている。家庭での様子と園での様子や個々の発達段階をより細やかに把握することが、安全で安心感のある教育及び保育につながるので、引き続き努めていく。

第5章 指導計画作成に当たって配慮すべき事項

	設 問	A	B	C	D
058	子どもの発達過程やその連続性に踏まえ、保育や生活の中で「ねらい」や「内容」が達成されるよう、必要な事項に配慮して保育を行わなければならないことを理解しているか？	1	16	1	
059	保育課程に基づいた具体的な指導計画を作成できているか？		13	5	
060	子どもの活動の展開に合わせて、援助の仕方等、具体的に指導計画で受け止め、計画に取り入れているか？	1	12	5	
061	入園時期には生活リズムや安全性に十分配慮して、指導計画を作成しているか？	3	11	4	
062	あなたの保育の内容は、子どもの発達過程に合ったふさわしい活動や体験であると説明できるか？	1	10	7	
063	多様な保育需要に対して、地域やこども園の特性を考慮した柔軟な計画が作成できているか？		10	8	

【評価】 おおむね「A」または「B」と回答している。今後もより具体的な計画を練り、職員間でアイデアを出し合いながら作成し、教育及び保育を進めていく。

第6章 研修と自己評価

	設 問	A	B	C	D
064	保育教諭は、自らの保育実践を振り返り評価し、専門性の向上や改善に努めなければならないことを理解しているか？	7	10	1	
065	研修会等への積極的、計画的参加をする中で、新たな課題と情報収集ができていますか？	2	10	6	
066	園の保育理念や基本方針を正しく述べるができるか？	2	8	8	
067	自己評価などで課題を見つけ、その課題の解決のために計画的に自己研鑽しているか？	1	12	5	
068	保育教諭としての自分の長所と短所が分かるか？	4	12	2	
069	周囲の人や来客に対して清潔感を与える対応や身だしなみを実践しているか？	5	13		
070	いつも笑顔であいさつや対応ができ、心配りのあるマナーやエチケットを会得し、励行しているか？	4	14		
071	規則正しい生活を送り勤務に支障をきたさないよう、自己の健康管理に努めているか？	8	8	2	
072	保育教諭としての生活、行事をこなし、毎日楽しく勤務しているか？	4	13	1	
073	他の保育教諭等とのコミュニケーションを密に行ない、また相手の意見に耳を傾け相手がどのような思いでいるのか、行動をとったのか考えることができていますか？	1	16	1	
074	職員間において常に報告、連絡、相談を行なうようにしているか？	5	10	3	

【評価】毎年自己評価を行うことで、自身の見直しをする機会を設けているが、自信のない職員の回答も見られた。子どもとの関わりはもちろん、保護者との関係も大切にしながら、職員の意識が少しでも向上していくように努めていきたい。

第7章 子育て支援

	設 問	A	B	C	D
075	子育ての悩みを安心して話せるように、送迎の際、保護者と会話を交わしたり、連絡帳等で情報を交換したりすることを積極的にしているか？	5	10	3	
076	保護者からの相談内容などをあなた一人の問題にしないで、上司に相談するなどしているか？	10	8		
077	保護者に現在の子どもの状況を分かりやすく伝え、なるべく具体的な事例で楽しさ、喜びが伝わるよう配慮しているか？	6	10	2	
078	一人一人の子どもについて、虐待を見抜くことができるように配慮しているか？	3	9	6	
079	懇談等を通して、園での様子、家庭での様子を共有しているか？	1	11	6	
080	保護者の子どものプライバシーに留意しているか？	10	7	1	

【評価】3歳以上児は連絡帳のやりとりが少なくなるので、大切なことや伝えるべき姿等は、今後も降園時等に積極的に保護者と話せるようにしていく。各クラスの個人懇談では、家庭での様子や園での様子を保護者と共有し、保護者の話に寄り添いながら聞くことを大切にし、子育て支援も視野に入れて強化していきたい。

【まとめ】

昨年度に引き続いて、新型コロナウイルス感染症の流行により、園内外の活動や行事が制限される中での教育及び保育となった。異年齢の合同保育を避け、各クラスで過ごすことがほとんどであったため、異年齢交流を始め、外部の方との関わりもなかったことが残念に思われる。感染症対策への意識が高まった一年になったので、今後はその意識を維持しつつ、活動や行事に前向きに取り組めるように検討していく。何よりも、園児や保護者の方から信頼されるように、職員間で協力しながら今後も相手に寄り添った教育及び保育に努めていきたい。